



久保 俊裕

浪速防火協力会会長
株式会社クボタ 代表取締役副社長執行役員

地域の皆様とともに

株式会社クボタは1890年（明治23年）に大阪で鋳物メーカーとして創業して以来、水道用鉄管、農業機械、建設機械など、さまざまな製品を世に送り出してきました。創業当時、コレラや天然痘などの伝染病が全国で流行しており、近代水道の整備・国産化が重要な課題でした。そこで、創業者の久保田権四郎は独学で鋳鉄管の研究・製造を行い国産初の直管の鋳鉄管製造と実用化に成功し、人の暮らしと社会に貢献してまいりました。

近年、地震やその他自然災害が多い日本ですが、クボタでは地震や軟弱地盤での沈下などの対策として耐震性能に優れた水道管や、大雨や台風による浸水被害が発生した際に使用する災害用復旧排水ポンプ車といった災害時に役立つ製品も製造し、社会に貢献出来るよう取り組んでおります。

また、浪速区にある本社ではグループ全体で約2,300人の従業員が働いています。防災対策の一つとして施設毎フロア毎の防火・防災責任者及び火元責任者の選任や、備蓄品の準備など「自助・共助」の理念に基づき取り組んでいます。さらに、年数回実施している訓練では、浪速消防署のご協力のもと避難訓練、消火器訓練、普通救命講習会を実施し、

従業員に対し指導を行っております。

災害はいつ、どこで、どのように発生するか分かりません。事前に様々なケースを想定し、準備をすることで被害を軽減することはできます。クボタには、関西、関東を中心として全国に事業所がありますが、それぞれの事業所や地域の特性に合わせて、防災・減災活動に取り組んでおります。防災対策は一事業所だけの取り組みでは限界があることはいうまでもありません。事業所と地域（行政、住民）が普段から連携を取り、ともに取り組むことが重要だと考えております。浪速防火協力会でも、防災・減災活動について地域と連携した活動を行う橋渡しの役割を担い、企業と地域が一体となった取り組みを行うことで、「災害のない安全なまちづくり」に貢献したいと切に願っています。

